

編集後記

2012年夏、トップアスリートたちが世界一をかけて戦った第30回ロンドンオリンピックは、数々の感動と多くの記録と記憶を残し、17日間の熱戦の幕を閉じました。日本の成績は、過去最多の38個のメダルを獲得し、過日、メダリストたちによる凱旋パレードが銀座で行われ、約50万の人々が熱狂的に沿道を埋め尽くした光景がテレビ放映されたのも記憶に残っています。この成果の背景には、日本代表チームに対するJISS（国立スポーツ科学センター）を中心としたスポーツ科学を活用したトレーニングや現地でのマルチサポートハウスの開設等、支援活動の充実が一つに挙げられます。東海大学からも現役学生、卒業生を含めて5選手が出場し、柔道、女子サッカー等の競技で銀メダルの獲得や入賞など、学園に明るい話題を提供してくれました。東海大学の一教員として、改めて、選手および監督・コーチの方々に深く感謝申し上げます。

本研究所では、今後も東海大学独自のスポーツサポートシステム（トレーニング部門、科学サポート部門、メディカル部門、メンタルサポート部門、栄養サポート部門）により、総合的立場から各競技団体や選手強化に関する支援活動の更なる充実を図り、その成果がスポーツ現場により多く活かされるよう努力していきたくと考えています。

さて、東海大学スポーツ医科学雑誌は、本年度で第25号の刊行となりました。本号には、前号と同様にスポーツサポートシステム及び人工的高地トレーニングシステムにおける重点活動から得られた研究成果を含めて、運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、スポーツ方法学、トレーニング方法学、臨床スポーツ医学などの広範囲なスポーツ医科学の領域で、14編の論文が掲載されています。

今後もスポーツ医科学に関する基礎的な研究は勿論、競技力向上、健康維持増進や社会還元に貢献できるような実践的な研究も投稿されることを期待しています。本誌発展のために、皆様方の益々のご協力と積極的なご意見をお寄せ頂きますようお願い致します。

最後に第25号刊行にあたって、ご寄稿を頂きました皆様方に厚くお礼申し上げます。

編集委員長 寺尾 保

「東海大学スポーツ医科学雑誌」

編集委員

委員長 寺尾 保

委員 三田 信孝

〃 小澤 秀樹

〃 有賀 誠司

〃 山田 洋

東海大学スポーツ医科学雑誌 第25号 2013

発行日 2013年3月31日

編集 東海大学スポーツ医科学雑誌編集委員会

発行者 東海大学スポーツ医科学研究所 寺尾 保
〒259-1292 神奈川県平塚市北金目四丁目1番1号
TEL 0463-58-1211

製作 東海大学出版会

印刷・製本 港北出版印刷株式会社